



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

ちょっといい話 「打てば響く 子どもたち」 ～自分たちの学校を 自分たちで守る～

先日、お昼の放送での表彰の後、子どもたちに写真を提示しながらちょっと問題提起をしました。こんな内容です。



皆さんはどう感じますか？

学校では 階段からの転落防止用に階段のすき間にプラスチック板を設置しています。設置した当初はこんな写真（写真左）のようになっていました。しかし現在は、設置した時のままの形で残っているのは**1個だけ**です。残りはすべてこんな風に（写真右）壊れてしまっています。中には、プラスチック板そのものがないところもあります。とっても悲しいことです。

校長先生は誰からも「壊してしまいました。」という話は聞いていません。壊しても気づかなかったのか。壊してもいいと思ったのか。だれもこの様子に気づかなかったのか。だれも危ないとは考えなかったのか。だれも直そうと行動しなかったのか。皆さんの心が心配です。考えてみてください。

ここで終わらないのが北っ子の素晴らしさ。次の日には6年生が校長室にやってきました。

「自分たちの学校を自分たちの手で直したいと思います。いいですか。」

自分たちの行動の反省や修繕のプランを話にきてくれました。6年生の後には、他の学年の児童が次々と壊れている箇所の報告や修理方法を伝えに来てくれました。「打てば響く子どもたち」とってもうれしかったです。誰でも失敗はあります。でも大事なのは、失敗・マイナスをマイナスのママにせず、次の行動につなげていくことだと思うのです。北っ子の素晴らしさを実感しました。大人が手を出せば、よりきれいな修繕やより頑丈な修繕になるものとは思いますが、まずは子どもたちに「任せる」ことにしました。そして、問題提起から2日後には、子どもたちの手による修繕が始まっていました。子どもたちなりに補強したり、カラーのプラスチック板を貼ってきれいにしたり・・・そしてさらにすごいのは、みんなが自然と大事に扱えるようにうように、「気をつけよう」や「壊さないで」というようなマイナスのメッセージではなく「ありがとう」「頑張って」等のプラスのメッセージを添えたかわいいイラストまで貼られていました。素晴らしい。！！北っ子っていい子たちです。

